

学校支援チームウェブサイトの開設について ～D-EST の取組として～

大臣官房文教施設企画・防災部

<学校支援チームウェブサイト開設について>

文部科学省は「被災地学び支援派遣等枠組み（D-EST）※」の取組として、全国の都道府県・指定都市における学校支援チーム設置や充実に向けた取組をサポートするために、文部科学省 / 学校支援チームウェブサイトを開設しました。

ここでは、令和6年能登半島地震での学校支援チームの活躍や、文部科学省の取組、全国への展開状況等を併せてご紹介いたします。

<能登半島地震での学校支援チームの活躍>

令和6年能登半島地震では、地方公共団体間の支援として宮城県、三重県、兵庫県、岡山県、熊本県が組織した学校支援チームにより被災した学校において再開に向けた支援や児童生徒等の心のケア等が行われました。

具体的には、1月5日から兵庫県の震災・学校支援チーム（EARTH）の先遣隊が珠洲市に派遣されるなど、発災後早期から被災地の教育委員会や学校に入り、被災地のニーズや各学校の課題把握等が行われ、登下校指導や児童生徒への心のケア、学校再開に向けたロードマップ作りなど、状況に応じた支援が実施されました。



登下校支援



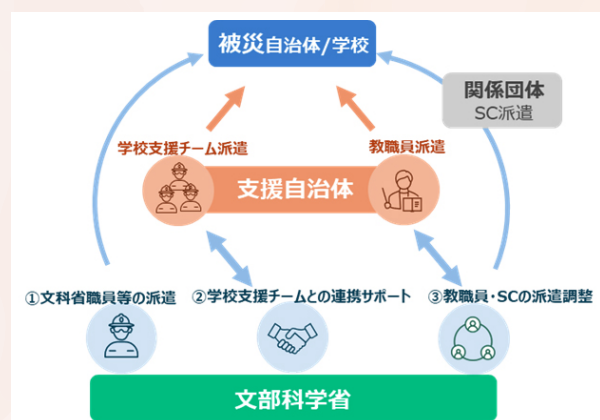
心のケアとしての絵本読み聞かせ

<被災地学び支援派遣等枠組み(D-EST)>

文部科学省は今後の大規模災害への備えとして、地方公共団体間の支援として行われた学校支援チームの取組との連携・協力を図ることを含め情報収集体制を強化し、被災地の子供たちの学びの継続や学校再開に資する人材を派遣する枠組み「D-EST」の構築と充実に向け、今後取り組むべき事項について、令和6年12月に最終まとめを取りまとめました。

「D-EST」では、被災地で速やかに子供たちの学びを確保するため、文科省職員等の派遣によるニーズ把握やこれに基づく支援、被災地外からの全国の学校支援チームの派遣、被災地のニーズに応じた応援教職員やスクールカウンセラーの派遣調整などに取り組むことにしています。

※ D-EST : Disaster Education Support Team



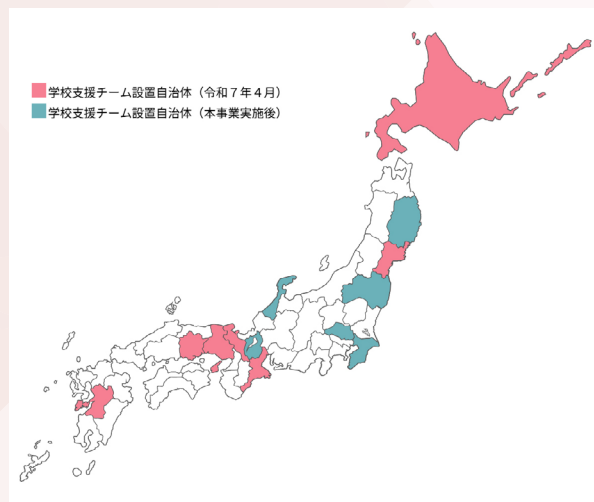
< D-EST 構築のイメージ >

<全国への学校支援チームの展開>

文部科学省は「D-EST」の実質化を図るため、「災害時学校支援体制構築事業」を実施しており、その1つとして学校支援チームの新設・取組強化を行う地方公共団体を支援し、その成果を全国に発信・普及を行うことにより、学校支援チームの取組を全国に広げる取組を進めています。

令和6年能登半島地震時には、5自治体が学

校支援チームを設置していましたが、新たに2自治体が学校支援チームを創設しており、本事業を通して、13自治体となる予定です。



学校支援チーム設置自治体

<ウェブサイト開設>

また、「災害時学校支援体制構築事業」では、国と各地方公共団体とのネットワークの強化や、情報共有等の交流を行うためのプラットフォームの構築等を実施しています。

学校支援チームのノウハウや取組概要、過去の災害における活動成果を整理し、災害時における学校支援体制の整備にあたって参考となるコンテンツを発信・普及し、全国的な連携・協力体制の構築を進めています。

その一環として、全国の地方公共団体における学校支援チームの設置や運営の取組をサポートするために、学校支援チームウェブサイトを開設しました。現在はみなさまからのご相談を受け付ける窓口として専用フォームを設置しています。今後は研修動画や各学校支援チームの活動実績などのコンテンツを充実させてまいります。お問い合わせや情報収集にご活用ください。



学校支援チーム特設サイト

https://www.mext.go.jp/a_menu/shisetu/D-EST/gakkoushien/index.html



学校支援チーム問い合わせフォーム

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=sBBYVMs2kEKJJkjbwPnPzresKgx-zZEUkxGZ-UwGUdUNVJCTzJPNik2WkkySTRHOUFJTzZLNDIZS-SQIQCN0PWcu>

